

茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 (ささえ愛♡ちがさき) 平成30年度～令和2年度 活動報告

令和3年3月2日(火)

茅ヶ崎市生活支援体制整備事業 第1層協議体

1. 概要

1. 概要

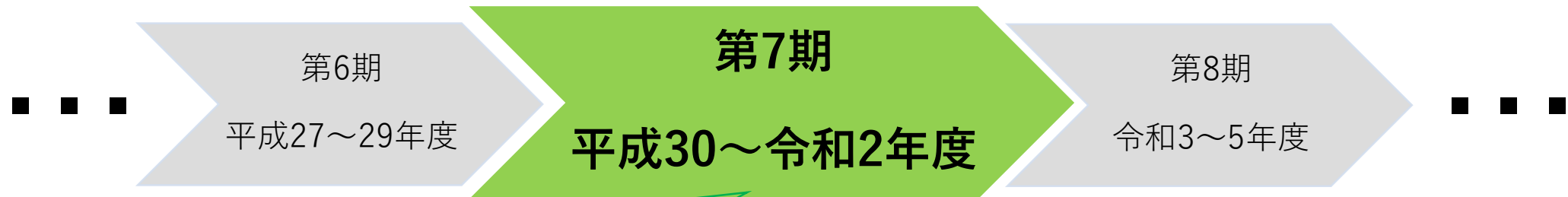
茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 と 生活支援体制整備事業

○生活支援体制整備事業は第7期茅ヶ崎市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（以下「第7期計画」という。）に基づき、本市では平成30年度から本格的に実施しました。

○第7期計画の期間は平成30年度～令和2年度の3年間で、最終年度である令和2年度は生活支援体制整備事業にとっても一つの節目となります。

○生活支援体制整備事業は今後も続いていきますが、ここで一度過去3年間の活動を振り返り、今後の第8期計画の取組について考えていきます。

介護保険事業計画



事業の推進役として「地域支え合い推進員」を配置しました。

第1層（市全体）地域支え合い推進員…茅ヶ崎市高齢福祉介護課職員

第2層（13地区）地域支え合い推進員…茅ヶ崎市社会福祉協議会職員

2. 活動報告 ～平成30年度～

2. 活動報告 ～平成30年度～

初の第1層協議体を開催

○第1層協議体構成員メンバーで初めての第1層協議体を開催（その後随時構成員の変更あり）。事業の方針や各地区での取組状況について共有し、グループワーク形式での意見交換・発表を行いました。

○ここでの議論をきっかけに「外出に関するアンケート調査」（次ページ参照）を実施するなど、この後の茅ヶ崎市生活支援体制整備事業の取組に繋がっていきました。

○以降、第1層協議体は基本的に年2回開催し、活動から見えてきた課題・解決策や活動方針について議論しています。※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催は1回（本日）のみ。

日時	平成30年8月22日 14時00分～16時00分
内容	①茅ヶ崎市の生活支援体制整備事業について ②各地区の取組状況について ③その他

2. 活動報告 ～平成30年度～

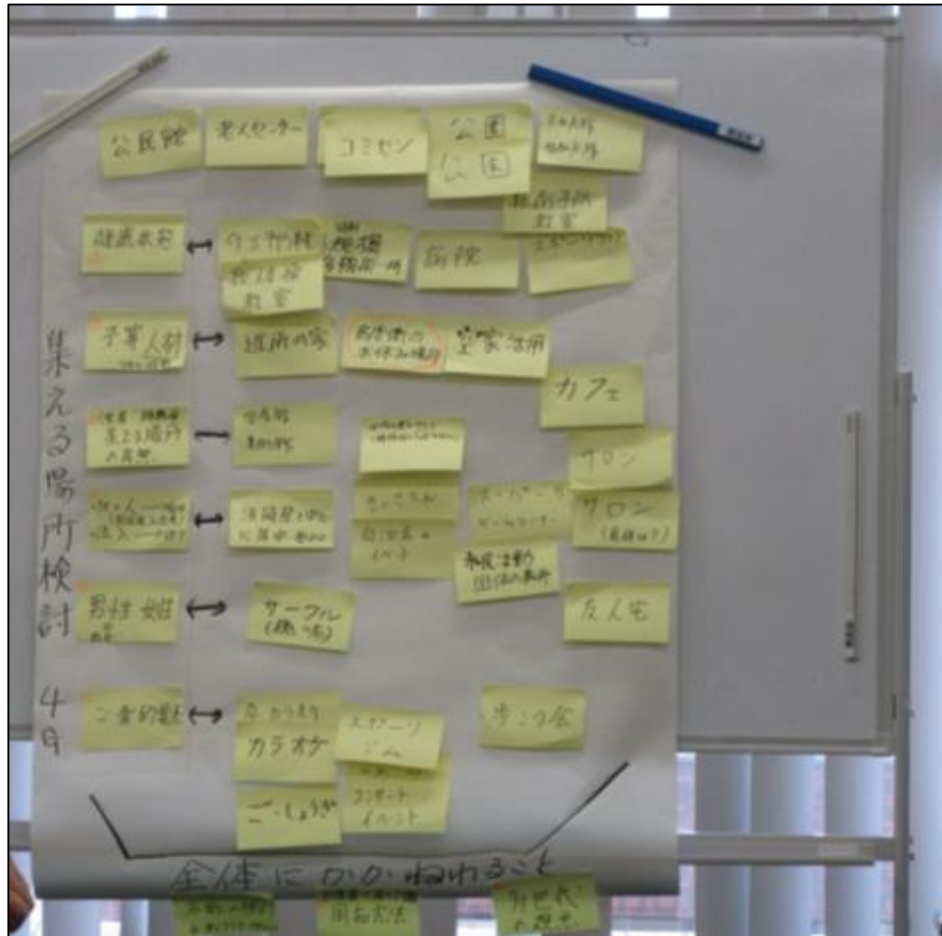
初の第1層協議体を開催

グループワークの様子



初の第1層協議体を開催

グループワークでは【外出支援】をテーマに高齢者の「買い物」「居場所づくり」について課題や解決策を話し合いました。



【グループワークで出た意見】

- （買い物に苦勞する理由として）交通手段の問題として、移動手段がなくなってきた。電車に乗って行って帰ってくるだけで大変。大型店舗ができたため、逆に交通量が増え、歩いていく人が行きづらく危なくなった。
- （居場所について）地の人と転入してくる人では、行く場所・居場所が違うのではないか。例えば、地の方は浜降祭を中心に自治会活動のため月に何回も参加している人も多い。転入してくる人は、スポーツジムやカラオケに行っている人も多い。
- いろいろなところでサロンが開かれているが、物理的にサロンを開くことが出来る場所が少ない。
- （高齢者の主な外出先について）病院に行くという声は多い。そうした人達にアンケート調査を実施してはどうか。
- 課題を把握するための調査を行う場合、情報が偏らないように日ごろ参加している会議や団体から以外への調査も必要になるのではないか。

第2層推進員の配置と主な活動

○茅ヶ崎市社会福祉協議会（以下「市社協」という。）が従来から地区支援のために配置している地区担当職員が第2層推進員をあわせて担う形で各地区へ配置し、引き続き地区支援にかかわる中で、本事業にかかる要支援高齢者等の課題把握やそれらの解決に向けた活動について、地区住民と共に共有・検討を行いました。

○地区担当職員は、地区支援ネットワーク地区担当及び第2層推進員として、地区社会福祉協議会の会議ほか、まちぢから協議会、コーディネーター配置事業の地区支援ネットワーク会議、地域ケア会議等の様々な会議体に地区の状況に応じて参加し、地区内の課題についての提起、情報提供・共有、解決に向けた取組の検討などに努めました。

○地区担当職員は、第2層推進員として定期的に第1層推進員と連絡会議（ミーティング）を開催し、第2層の活動について共有しています。

2. 活動報告 ～平成30年度～

外出に関するアンケート調査

○地域に暮らす高齢者の支援を考える上で、日常での困りごとを把握するための第一歩として高齢者の「外出」に関するアンケート調査を実施しました。

○調査結果は翌年度に「外出に関するアンケート（市域版・地域版）」という冊子にまとめました。高齢者の困りごとの把握だけでなく、地域での課題の共有など様々な用途で活用されています。

調査対象	平成30年12月時点で要支援認定を受けている方1,300人 (13地区×100人) 対象者は層化無作為抽出(※)により抽出
調査方法	調査票の郵送配布・回収により実施
調査期間	平成31年1月24日～2月20日
回答数(回答率)	815人(62.7%)

(※) 層化無作為抽出…各地区で要支援1と要支援2の認定を受けている方を、男女それぞれ25人ずつ無作為抽出。

地区社会福祉協議会連絡協議会の研修会を活用した研修

○各地区で担い手の不足が課題となる中、市社協では高齢者等のボランティア活動参加を促す取り組みがすすむよう地区社会福祉協議会・地区ボランティアセンターを対象に研修会を行ないました。開催にあたっては、市企画経営課、福祉政策課と協力しました。

日時	平成30年8月27日 参加者 74名 平成31年2月19日 参加者 74名
内容	『新たな仲間づくり』 『どのように若手のシニアを仲間にするか』

2. 活動報告 ～平成30年度～

事業説明会を開催

○茅ヶ崎市生活支援体制整備事業の取組を促進するため、第1層協議体構成団体の関係者等を対象に事業説明会を開催しました。

○当日は94名に出席いただき、「外出に関するアンケート調査」結果の速報値での報告、平成30年度の活動報告と市内で行われている居場所づくりの活動の事例紹介（湘北地区みんなの居場所づくり）などを行いました。

日時	平成31年3月28日 18:00～19:30
内容	①平成30年度茅ヶ崎市生活支援体制整備事業報告 （外出に関するアンケート調査結果、市内の社会資源リストの活用等） ②居場所づくりの事例紹介 様々な主体が連携している事例や、個人で行っている事例等の紹介 ③その他

2. 活動報告 ～平成30年度～

事業説明会を開催

「外出に関するアンケート調査結果」報告の様子



居場所づくりの事例紹介の様子



2. 活動報告 ～令和元年度～

2. 活動報告 ～令和元年度～

愛称の決定

○第1層協議体にて茅ヶ崎市生活支援体制整備事業の愛称を協議していただき、「ささえ愛♡ちがさき」に決定しました。皆さまご意見ありがとうございました。



ささえ愛♡ちがさき マーク

周知活動（出張講座）

- 市民まなび講座にて茅ヶ崎市生活支援体制整備事業についての出張講座を実施しました。
- 出張講座の機会を活用し事業の周知をするとともに、参加者からご意見やご質問をいただき活動の参考としています。

2. 活動報告 ～令和元年度～

外出に関するアンケート調査結果の報告書（確報版）作成

- 平成30年度に実施したアンケートを集計し、確報版を作成。
- 市域版と地区版の2種類作成しました。
- 市全体だけでなく地区別の集計も行うことにより、市全域での傾向だけでは見えにくい地区ならではの困りごとの傾向や必要とされている支援策を考えるヒントとして活用することができます。

市域版



地区版



2. 活動報告 ～令和元年度～

外出に関するアンケート調査結果の報告書（確報版）作成

○平成30年度に実施したアンケートを集計し、報告書作成しました。



市域版の特徴

- ・ 地区版の基となる情報
- ・ 市域の集計結果については細部まで掲載
- ・ 地区別についても基本的な集計は網羅
- ・ 細部まで確認しやすい報告書形式



地区版の特徴

- ・ 地区別の詳細な集計結果を掲載
- ・ 地区ごとの傾向を分析して掲載
- ・ 地区でのプレゼンに適したパワーポイント形式で作成

2. 活動報告 ～令和元年度～

年間のテーマを取り上げた懇談会や研修会を開催

○市社協では個別の地区活動だけでなく、地区社会福祉協議会連絡協議会の活動ともつながりを持てるよう課題提起し、『外出や買い物困難への課題（交通弱者）』を年間のテーマとして取り上げました。研修会や視察などの活動を関連の内容で実施し、年間を通して課題を考える機会としました。

日時	令和元年8月26日 9：30～11：00 地区参加者：58名
内容	第1回 研修会 『地域で支え合うくらしの足ーコミバス市民の会の取組』 ・講師：砂田 正子氏（コミバス市民の会 ※港北区菊名地域） ※第2回研修会は生活支援体制整備事業報告会を兼ねて、令和2年2月18日に開催

サロン情報の収集

○社会資源の把握の一環として、市社協の日頃のネットワークを活かし、市内のサロンに市社協から「活動情報シート」を発送しました。

○収集した情報は「ミニデイ・サロン一覧」として取りまとめ、茅ヶ崎市社会福祉協議会のホームページにて公開しています。（令和3年2月現在の掲載件数：107）

○活動内容、開催場所、日時、規模などが記載されており、自分に合ったサロンを探すことができます。

ミニデイ・サロン一覧（市社協で活動を把握しているサロン）												
地区	会名	開催場所	利用できる人	地域居宅 サービス 利用状況	参加費 （有料） 利用状況	開催日時	開会 費	会費 金	定員 数	休 日	趣味活動	その他
茅ヶ崎	サロン「よりみち」	老人福祉センター	障害者	なし	1人～10人 参加費 200円	原則第3金曜日 18時～18時					カラオケ、遊 戯、トランプ、 麻雀、ぬい 物	
茅ヶ崎	ミニココカラブ	「うみかぜテラス （茅ヶ崎山陽福祉学習センター）」 2F老人福祉センター	認知症の方 （要支援）	茅ヶ崎市内 全地区	10人～40人 参加費 1,200円	①第1金曜日（うみかぜテラス）10時～13時 ②第3金曜日（老人福祉センター）10時～13時						ミニデサービス
茅ヶ崎	ぽかぽかサロンからえ	ぽかぽか みんなのひろば 2Fフ ァーズベース	高齢者	なし	1人～8人 参加費 200円	①中居 第2金曜日 13時30分～13時30分 ②からえ 第1、3金曜日 10時～13時		○			歌謡（サロン） 演奏（からえ）	
茅ヶ崎	カフェサロン心	フリースペース らびわっと	どなたでも	なし	1人～12人 参加費 100円～150円	第1金曜日（月曜休） 13時30分～15時30分	○				みんなの音楽 聴かせ演奏	トランプ、歌など
茅ヶ崎	茅ヶ崎ニューライフサロン	茅ヶ崎ニューライフマンション内 食堂	茅ヶ崎市内の方	高齢者	10人～20人 参加費 100円	①第1金曜日（月曜休） 13時30分～15時30分 ②第2金曜日 10時～13時		○				
茅ヶ崎	健康園	本村集会所（茅ヶ崎） 老人会	高齢者	なし	1人～8人 参加費 100円	不定期 概ね13時～16時					音楽、鑑賞 （CDで音楽） （DVDで音楽） （DVDで音楽） （DVDで音楽）	おしゃべり、音楽 物、CDで音楽、 DVDで音楽、 DVDで音楽、 DVDで音楽
茅ヶ崎	サロン もとまち	ボランティアセンターもがき	高齢者	地区内の方	1人～10人 参加費 100円	第2金曜日 10時～12時	○					
茅ヶ崎	音楽・福祉サロンもとまち	ボランティアセンターもがき	高齢者	地区内の方	1人～10人 参加費 100円	第2金曜日 10時～14時					音楽・福祉	
茅ヶ崎	よつぎ会	藤和ハイタウン南東茅ヶ崎内 会館	どなたでも	地区内の方	10人～24人 参加費 100円	第1金曜日 14時～16時	○	○			健康講座、 音楽、歌、 ダンス、 ゲーム	バーベキュー、花 壇、ハイキング
茅ヶ崎	カラオケサロン	ボランティアセンター茅ヶ崎	高齢者	地区内の方	1人～8人 参加費 なし	毎月第1金曜日 10時～12時	○	○			カラオケ、 ゲーム	カラオケ
茅ヶ崎	サロンとえ	片栗町福祉自治会館	高齢者（障がい者）	なし	10人～18人 参加費 100円	第2、4金曜日 10時～13時 （第1、3金曜日休）	○	○			カラオケ、 ゲーム、 音楽、福祉	カラオケ、 ゲーム、 音楽、福祉
茅ヶ崎	サロンサザンビーチ	中島町自治会館	どなたでも	地区内の方 （要支援）	10人～20人 参加費 100円	第1、3金曜日 13時～16時30分	○				カラオケ、 ゲーム、 音楽、福祉	カラオケ、 ゲーム、 音楽、福祉
茅ヶ崎	うみかぜサロ ン	うみかぜテラス （茅ヶ崎山陽福祉学習センター）	子どもと親	なし	10人～20人 参加費 なし	第1金曜日 10時30分～11時（講座）、11時～ 13時30分（サロン）	○	○	○			これは講座「子育てに 役立つ」等を開催し ています。
茅ヶ崎	子育てサロン いちご	うみかぜテラス （茅ヶ崎山陽福祉学習センター）	子どもと親	なし	1人～18人 参加費 なし	第1、3金曜日 10時～12時			○			
茅ヶ崎	福祉サロン健康	うみかぜテラス （茅ヶ崎山陽福祉学習センター）	どなたでも	なし	10人～ 20人 参加費 100円	第2、4金曜日 10時～13時	○	○			ストレッチ、 音楽、福祉	ストレッチ、 音楽、福祉

市内のミニデイ・サロンの

- ・ 活動内容
- ・ 開催場所
- ・ 日時
- ・ 規模

などの情報を記載

2. 活動報告 ～令和元年度～

講師を招いての「ミニデイ・サロン連絡会」開催

・市社協では、今年度は講師による講義と市内活動者同士のグループディスカッション『うちのサロン自慢』を行いました。多くの方のご参加をいただき、サロン活動者相互の情報交換や学び合いの場となりました。

日時	令和2年1月29日 14:30～16:00 参加者：90名
内容	『ミニデイ・サロンの意味を考える』 ・講師：長田 英史氏（NPO法人れんげ舎代表理事）

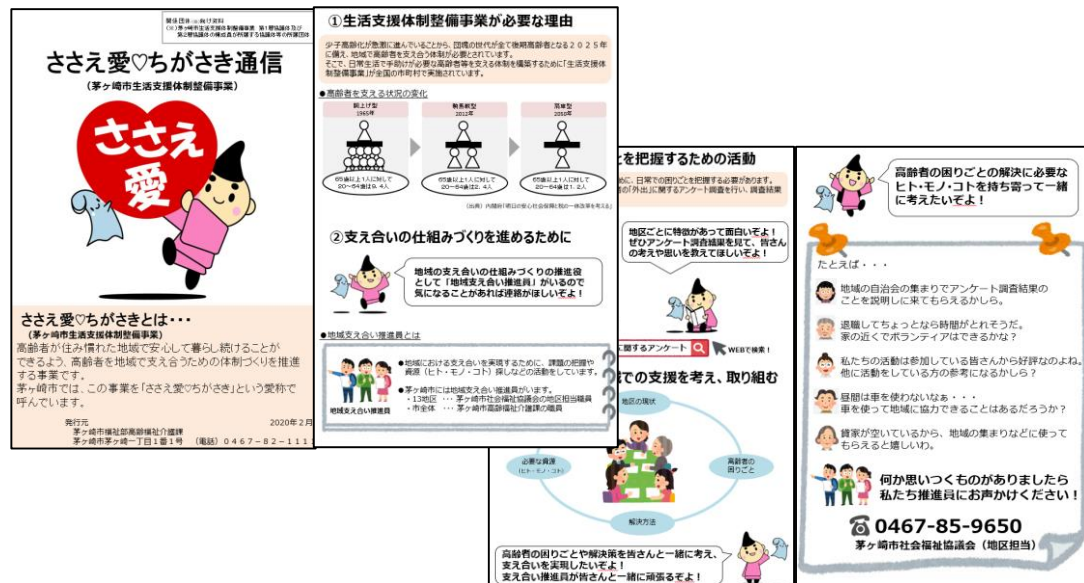
2. 活動報告 ～令和元年度～

「ささえ愛♡ちがさき通信」発行

○生活支援体制整備事業の活動をわかりやすく説明するため、周知用リーフレット「ささえ愛♡ちがさき通信」を作成しました。

○茅ヶ崎市生活支援体制整備事業の目的や地域支え合い推進員の紹介、取組状況、連絡先などを簡潔に説明したもので、様々な場面で使用しています。

A3両面（折り畳み）サイズで
生活支援体制整備事業について
簡潔に説明しています



2. 活動報告 ～令和元年度～

事業報告会を開催

○第1層協議体構成団体の関係者等を対象に茅ヶ崎市生活支援体制整備事業の取組状況を報告するための「事業報告会」を開催しました。

○地区社会福祉協議会連絡協議会の令和元年度の研修テーマと本事業のテーマが共通していたことから、地区社会福祉協議会連絡協議会研修会と共催という形式で開催しました。

○当日は112名に出席いただき、地区の事例及び「外出」に関するアンケート調査結果についての報告を行いました。

日時	令和2年2月18日 9：30～11：00
内容	①事例報告 ・湘南地区「おでかけワゴン」 ～外出支援の取り組みについての事例報告～ ・松林地区のイベント時における移動支援の取組 ～もう一度あの人の笑顔がみたい～ ②「外出」に関するアンケート調査結果について

2. 活動報告 ～令和元年度～

事業報告会を開催

事例報告の様子



2. 活動報告 ～令和2年度～

2. 活動報告 ～令和2年度～

新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査

- 新型コロナウイルス感染症が地域の支え合い活動に与える影響等を把握するために、第1層協議体構成員を対象に「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査」を実施しました。
- こちらのアンケート調査でいただいたご意見をもとに、令和2年度は地域包括ケア支援システムの拡充やWEB会議にて第1層協議体を開催いたしました。
- ご多忙の折、短期間での照会にもかかわらず御協力いただきましたことにあらためて御礼申し上げます。

期間	令和2年6月2日～6月12日
対象	第1層協議体構成員
目的	新型コロナウイルス感染症による地域の支え合い活動への影響等を把握する

今後の地域福祉活動の再開に向けたアンケート実施

- 第1層協議体構成員を対象に「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査」が実施されたことに続き、市社協でもミニデイ・サロン等を対象にアンケートを実施しました。
- 実施期間が緊急事態宣言が解除されて約1ヶ月後だったこともあり、回答には「他の活動がどうしているか知りたい」との声も多くみられ、情報を共有することでそれぞれが自分達の活動を考える一助となりました。
- ご協力いただいた各団体の皆様には、あらためて御礼申し上げます。

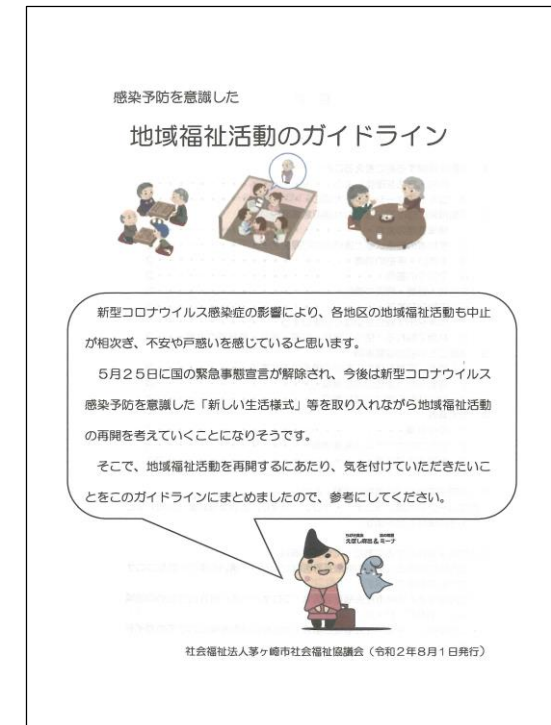
期間	令和2年6月26日～7月10日
対象	各地区社協、各地区ボランティアセンター、市社協把握のミニデイ・サロン 計174か所、回収率66.6%
目的	新型コロナウイルス感染拡大防止を意識した社会生活が求められる中で、各団体がどのような不安を感じ、どのようなことに困っておられるかを知ること、今後の市社協の地域福祉活動の実施と地域への支援等を考える
集計結果	対象団体に『感染予防を意識した 地域福祉活動のガイドライン』と共に報告書を持参又は郵送

『感染予防を意識した 地域福祉活動のガイドライン』作成

○「今後の地域福祉活動の再開に向けたアンケート」の結果や日頃からの地区支援を踏まえ、市社協では『感染予防を意識した地域福祉活動のガイドライン』を作成いたしました。（令和2年8月1日発行）

○新型コロナウイルス感染拡大の影響で、地域福祉活動も中止となり、不安や戸惑いを感じている状況下でも繋がりが途切れることなく、活動するためにはどうすればいいのか、そういった視点から、様々な機関や他地域等の資料・取組を参考にまとめました。

○作成した『感染予防を意識した地域福祉活動のガイドライン』は、対象団体174箇所その他、各地区の民生委員・児童委員の皆様にお渡し（または郵送）させていただきました。



2. 活動報告 ～令和2年度～

地域包括ケア支援システムの導入

○介護サービス、地域のサロン、相談先といった社会資源の情報をより簡単に入手できるよう地域包括ケア支援システムを導入しました。

○新型コロナウイルス感染症の拡大により、自宅にいたがらインターネットで情報を入手できるこうしたシステムに需要があったのか、アクセス数は稼働開始後2ヵ月で約1万アクセスに達しました。

現在も月平均2千～3千ものアクセスがある状況です。

○多くの方により便利にご利用いただけるよう今後も継続してシステム全体を拡充させていきます。

茅ヶ崎市地域包括ケア支援システム (トップページ)



広報ちがさき 掲載記事 (7月1日号)



2. 活動報告 ～令和2年度～

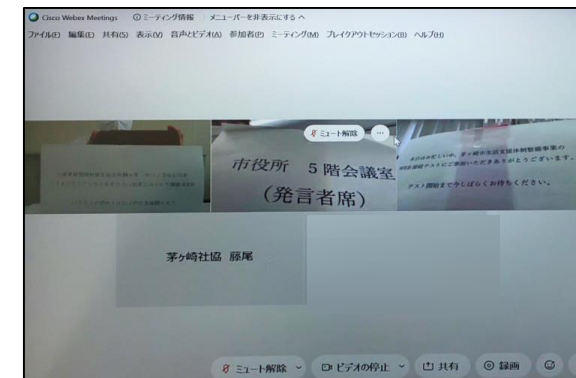
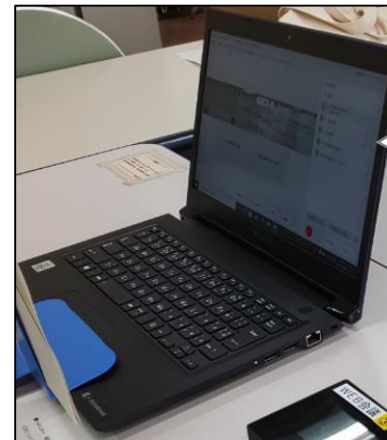
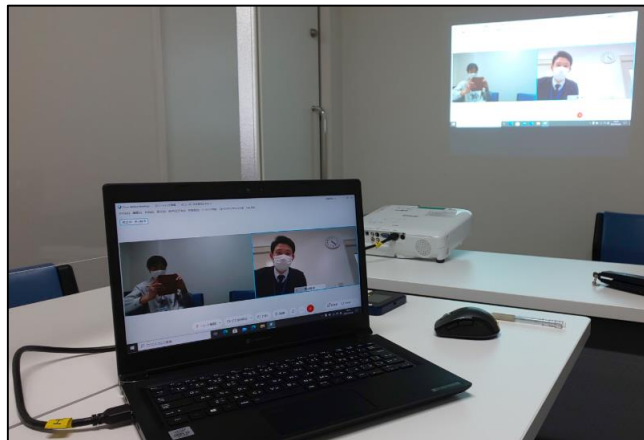
WEB会議での第1層協議体の開催

○「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査」にて第1層協議体構成員の皆さまから「コロナ禍においてITの活用できないか。」といったご意見を複数いただき、地域支え合い推進員としても、新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ「これを機会にITの力で何かできないか」と考え、企画したものです。

○今回、手探り状態ではありますが、こうしてWEB会議形式で第1層協議体の会議開催にまで至りました。

○新型コロナウイルス感染症が拡大する中では、一堂に会して同じ空間で話し合い、方針を決め、行動するという今までは当たり前だったことが難しい状況にあります。そのような時には、今回のようなWEB会議を取り入れるのも一つの有効な手段であると考えます。

開催前の接続テストの様子



2. 活動報告 ～まとめ～

平成30年度～令和2年度活動報告 まとめ

- ・初の第1層協議体を開催
- ・第2層推進員の配置と主な活動
- ・外出に関するアンケート調査
- ・地区社会福祉協議会連絡協議会の研修会を活用した研修
- ・事業報告会を開催
- ・周知活動（出張講座等）を継続的に実施

- ・新型コロナウイルス感染症に関するアンケート調査
- ・今後の地域福祉活動の再開に向けたアンケート実施
- ・『感染予防を意識した 地域福祉活動のガイドライン』作成
- ・地域包括ケア支援システムの導入
- ・WEB会議での第1層協議体の開催
- ・周知活動（出張講座等）を継続的に実施

平成30年度

令和元年度

令和2年度

- ・愛称「ささえ愛♡ちがさき」の決定
- ・周知活動（出張講座等）を継続的に実施
- ・外出に関するアンケート調査結果報告書（確報）作成
- ・「ささえ愛♡ちがさき通信」発行
- ・サロン情報の収集
- ・年間のテーマを取り上げた懇談会や研修会を開催
- ・講師を招いての「ミニデイ・サロン連絡会」開催
- ・事業報告会を開催

3. 次の3年～その先に向けて

3. 次の3年、その先に向けて

今後の茅ヶ崎市生活支援体制整備事業

茅ヶ崎市生活支援体制整備事業が本格的に開始してからの3年間、皆様から様々な面でご協力いただき、事業を進めることができました。

令和2年度は生活支援体制整備事業にとって一つの節目ですが、もちろんこれで終わりではなく、まだまだ続いていきます。これまでの振り返り、この後の意見交換においてご意見やご感想をいただければ幸いです。

次の3年もさらにその先も、この事業をより良いものにしていくためには皆様の力が必要です。

これからも「ささえ愛♡ちがさき（茅ヶ崎市生活支援体制整備事業）」にご協力を賜れば幸いです。

